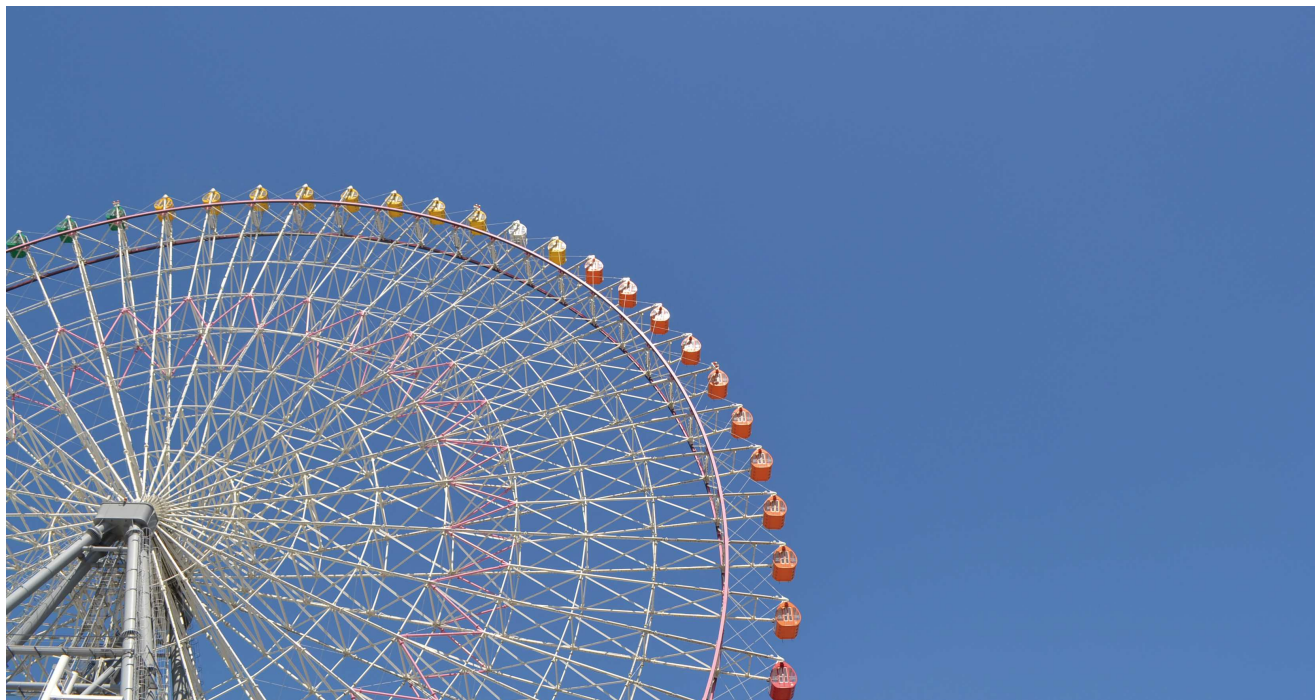


真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第 30 号

平成30年(2018年)
7月1日 発行



紺碧の空と観覧車（大阪市港区・天保山大観覧車）

毎朝、玄関先をきれいにお掃除されるご近所のご夫婦が、ある朝しゃがんで何やら話しておられました。翌日、そのお宅の前を通ると、そこには小さな名も知れぬ花が咲いていました。

アスファルトの道と、コンクリートの塀との境目に、力強く根を生やし、可憐に咲く花をご夫婦は見守ろうとされたのでしょうか。

厳しい環境に生きることを自分で選んだわけではないでしょうが、与えられた場でけなげに咲いている花。その姿は何か大切なことを伝えようとしているように思いました。

生まれてくる時代も場所も選ぶことはできません。また思い通りに生活をしたくても、ままならないと愚痴ばかりをこぼしてきた私。しかし、それらはすべて私に与えられたご縁です。

うれしいことも悲しいことも、私が私になるための道ゆきであると、この花に教えられました。

（葦名 彰）

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

常光寺 佐々木太一 ささき たいち

この春、卒業式を終え、人生の新しいステージに進もうとされている方も多いと思います。皆さんも名前を呼ばれ、卒業証書を受けとったことをよく覚えておられるのではないのでしょうか。

名前はプレゼント

私たちは生まれた時に、ひとりの命の証しとして親から名前をつけてもらいます。親から子どもへの最初の愛情

のこもったプレゼントです。

赤ちゃんが最初に発する言葉は「お母ちゃん」が多いようです。赤ちゃんに愛情こめて「お母ちゃんですよ」と話しかけていると、ある日「お母ちゃん」としゃべってくれますね。母親の「お母ちゃんですよ」との名乗りを受け、その愛情がこだまして赤ちゃんの口から「お母ちゃん」という言葉が出てくるのです。

弥陀の名を通して

私が大変お世話になった信楽峻磨先生の詩を紹介します。

み仏は

ひとのいのちのおくふかく

来りやどりて今日もまた

南無阿弥陀仏と喚びたまう

信楽先生は「お念仏を称えるとき、阿弥陀仏のお心が私の心に届き、仏のいのちと私の心がひとつになる」「親鸞

聖人がお示しになられたのは、お念仏を称えるということは阿弥陀仏の喚び声を聞くこと。私がお念仏申しながら、実は阿弥陀仏が私の口を通して私を喚んでくださっているのだ」とおっしゃいました。

南無阿弥陀仏は阿弥陀仏の名乗りなのです。

阿弥陀仏の喚びかけがなければ、迷いの中を生きる私たちは自分の都合を振り回し、どんどん誘惑に飲み込まれていきます。私たちは阿弥陀仏の喚びかけがあるからこそ、方向を見失わずに一步一步、歩んでいくことができるのです。

生きている限り卒業はありません。

(平成30年3月21日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

光明てらしてたえざれば

大阪教区 霊松寺 脇阪義仁^{わきさか よしひと}師



このように脇阪師はお話し
くださいました。

本願の気づき

今回の布教では、初日の出をたとえに出されました。私たちは、同じ日の出であるにもかかわらず、勝手な都合で分け隔てをしています。

自分の都合や思い込みによって、同じものが、違うように見えてしまうことが生活の中で多々あります。しかしそんなことにもまったく気づいていない私。

そのような私に対して、不断光仏とも呼ばれる阿彌陀仏は絶えず照らしてくださっているのです。「そんな自分自身の姿に気づけ」と。

このように脇阪師のお話を聞かせていただきました。

(寿栄松正顕 記)

平成30年1月21日、大阪市浪速区にある超願寺様で大悲の会後援の布教大会が行われました。

第一席で霊松寺・脇阪義仁師は讃題の「光明てらしてたえざれば、不断光仏となづけたり、聞光力のゆえなれば、心不断にて往生す」という和讃を通して、不断光仏についてお話しくださいました。

初日の出

毎年、元日の朝より修正会をお勤めしています。ですの

で実際に初日の出を見たことがありません。お勤めを終えたあと、おせち料理をいただくながら、テレビで放映されている初日の出を見るのが恒例となっています。

日の出そのものは、元日もその次の日も同じ日の出ですが、初日の出以外は、わざわざ眺めたりしません。元日はありがたい日の出だから眺めたいが、他の日はそうでもないのに関心がない、と。

絶えず私を照らしてくれて
いる太陽は、いつも変わらな

いにもかかわらず……。

不断光仏

讃題で頂いた和讃に「光明てらしてたえざれば、不断光仏となづけたり」とあります。

光明となつて常に私を照らしてくださるはたらき。阿彌陀仏のことを不断光仏とも呼ばれています。

阿彌陀仏は私たちが気づいていないときであっても、太陽の光と同じように、いつもこの私を照らしてくださっているのです。

大阪探検

みどうすじ 御堂筋



御堂筋のいちょう



平野町筋よりのぞむ旧大阪別院



旧別院の所在地(大正13年の地図より)

梅田から難波まで、全長約4キロを南北に結ぶ大阪随一の幹線道路が御堂筋です。

沿道には、大阪市役所や銀行、企業の本支店が立ち並び、中央公会堂や日本銀行大阪支店旧館などの近代建築も目を引きまします。

また約1000本あるいちょう並木も大阪を象徴する景観の一つとなっています。

お念仏と共に

御堂筋という名称は、北御堂（本願寺派）と南御堂（大谷派）という二つの寺院が沿道にあることに由来します。

室町時代に蓮如上人が一字の坊舎を建てられ

たことを機縁として、

安土桃山時代の終わ

り、現在地に両堂が建立されることとなります。

そこに集まった、いわゆる船場商人たちの「御堂さんの鐘が聞こえるところで商売を」という言葉からも分かるように、大阪は御堂筋を中心として、お念仏の声と共に発展してきました。

現在、大阪市住吉区にある佛光寺大阪別院も古くはこの御堂筋近辺にあり、お念仏をよるこぶ人々で賑わっていたことが想像されます。

イベントの舞台

御堂筋では、御堂筋オータムパーティーや御堂筋イルミネーションなど、一年を通して様々なイベントが開催されています。詳細はHPなどでご確認ください。
(門川崇志)

ごえんさんを訪ねて

こうえんじ
光圓寺

(大阪市天王寺区)

かつべ まさのり
勝部正典 住職



唯門山光圓寺は四天王寺の一字である念仏道場「竹屋の道場」としてその役割を果たしてきたそうです。

その後、慶長元（1596）年に釋正西が佛光寺派へ転派、現在の第14代住職に至ります。先々代住職は境内で眼科医院を併設し、地域に長年親しまれてきました。

現住職は平成11年に入寺され、21年に継職されました。入寺以来、本山の法要に携わる御堂式務衆として活躍されています。

活動的に

さらに雅楽で使う管楽器の鳳笙（ほうしょう）を天王寺楽所で学ばれ、楽人としても法要等で引つ張りだこです。

そして月に一度は寺に足を運んでほしいという思いから、春秋の彼岸会、永代経法要、報恩講法要が勤まる月以外にも法座（間法会）を開いています。1月の初法座では鏡開き

をしたお餅を役員の奥様方の作ったおぜんざいに入れてみんなでいただくそうです。

住職はスポーツにも造詣が深く、野球、サッカー観戦はもちろんのことで特に学生時代から続けているボクシングは現在もアドバイザーとしてグリーンツダボクシングジムに通い、若いボクサーと汗を流しています。

これから

最近「正信偈」の「大悲無倦常照我」（だいひむけんじょうしょうが）（大悲倦きことなく、常に我を



本堂内陣

照らしたまう）を常に讃題として頂き、日常の出来事を通して、お念仏の教えを法座などでお話しされているそうです。

継職してもうすぐ10年、たくさんの方々に支えられ、ここまでこられたことを感謝し、ますますご門徒と共にお念仏を喜べるよう精進したいと語ってくださいました。

（玉出宗順）

■光圓寺（こうえんじ）

〒543-0052

大阪市天王寺区大道1-2-4

電話 06-6771-0166

Fax 06-6771-1517



汗を流す住職

大悲トピックス

■新役員紹介

大阪教区の法友会（住職会）、さつき会（坊守会）ならびに佛青懇和会（青年会）で総会が開催され、新役員が決定しましたのでご紹介いたします。（敬称略）

法友会

- ▽会長・隅谷俊紀（高照寺）
- ▽副会長・佐々木太一（常光寺）
- ▽書記・寺田宗隆（報恩寺）
- ▽会計・善本和彦（本光寺）
- ▽監事・佐々木雅人（西圓寺）
- ▽理事・三義善英（光照寺）
- ▽理事・藤澤泰人（唯信寺）

さつき会

- ▽会長・葦名真紀（妙圓寺）
- ▽副会長・河野敦子（稱光寺）
- ▽書記・佐々木佳寿子（西圓寺）
- ▽会計・和田美代子（慈光寺）
- ▽監事・脇阪千鶴江（霊松寺）

佛青懇和会

- ▽会長・玉出宗順（光福寺）
- ▽副会長・門川崇志（浄方寺）
- ▽会計・中井翔隆（最勝寺）
- ▽書記・松野正暁（光念寺）
- ▽監事・和田正智（慈光寺）

■「大悲の会」後援・布教大会

「大悲の会」では、大阪教区内寺院の聞法活動の促進、ならびに教区内布教使の研鑽のため、各寺院における布教大会開催のコーディネートを行っています。

独自で布教大会を開催するのはなかなか困難ですが、「大悲の会」が寺院と布教使との間に入って調整することで双方にとって有意義な法座が開催されるものと考えています。

開催ご希望の寺院は、大悲の会までお知らせください。

（大悲の会一同）

■懇志御礼

- 兵庫県芦屋市 如来寺様
- 岡山県真庭市 正覚寺様
- 滋賀県守山市 西福寺様

御本山  用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055
（〒600-8344）京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367(代)
 FAX (075) 371-5088

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー

 **株式会社 石留石材**

ホームページ
<http://www.ishitome.co.jp>

本社：京都市中京区堀川御池角
 TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

 **石留石材株式会社**

各種石塔・石仏・記念碑
 寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯・PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

浜屋は関西最大級のお仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の専門店です。

やすらぎの世界を創る  **浜屋**

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル

お問い合わせお申し込みは **0120-1616-94**

●受付時間／午前10時～午後6時30分

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

 **公益社**

公益社 ご葬儀相談センター （24時間・365日受付・通話料無料・携帯電話OK）

0120-567-701

※2012年5月現在 2-0131

燦ホールディングス グループ

なごみ庵

 **きたはま**
 KITAHAAMA

法要料理 希望の場所までお届けします。

- 四條畷店 ☎0743-78-7521
- 瓜破店 ☎06-6769-0140
- 伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 2-0132

だいひ 絵日記

- 4月18日(水) 大悲の会編集会議(第30号読み合わせ)
 5月18日(金) 佛青懇和会総会
 5月21日(月) 大悲の会後援・布教大会(宝林寺)①
 5月22日(火) 大悲の会編集会議(第30号読み合わせ)
 5月23日(水) さつき会総会②
 6月 5日(火) 法友会総会③
 6月 5日(火) 大阪教区総会④
 6月14日(木) さつき会研修会(私ひとり辛抱しています・講師:長田 譲 師)
 6月25日(月) 大悲の会編集会議(第30号発送作業・第31号内容検討)
 (法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・箏)出張演奏いたします。
 曲目はリクエストできます。
 事務局:阪南市新町 宝林寺
 電話 072-472-1414
<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

創業安政3年
 京 佛 具 調 進
 森田屋

福野御佛具處

〒601-8424
 京都市南区西九条猪熊通九条上る
 tel. fax 075-691-8423

仏跡参拝なら専門旅行会社にお任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～



株式会社 **モントラベル**

〒550-0013
 大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
 お気軽にお問い合わせください
 TEL. 06-6531-1344

協 賛

法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

沙羅



寺院コム

<http://jiin.com>

京
懐
石

和
光
菴

慶事、仏事、各種会合等の際は、
 和光菴の仕出し料理を
 御利用下さい。

株式会社 和光菴
 〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
 TEL06-6774-8090 www.wakouan.co.jp
 西天満店 結心(ゆいごころ)
 〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1 階
 TEL06-6809-6311 www.yuigokoro.com



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



大阪別院孟蘭盆会

8月13日(月) 午後2時
8月14日(火) 午後2時
8月15日(水) 午後2時

◎正念寺(大阪市東住吉区・06-6714-3109)

7月19日(木) 午後3時

「聞法会」法話：武田博彰 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください

大阪別院彼岸会

9月20日(木) 午後2時
法話：隅谷俊紀 師
9月23日(日・祝) 午後2時
法話：玉出宗順 師
9月26日(水) 午後2時
法話：勝部正典 師



大阪教区寺院で開催される法話会

◎常光寺(大阪市淀川区・06-6391-5319)
7月14日(土)～16日(月)
「紫陽聞信会」 午前9時半、午後1時
14日 法話：西田眞因 師
15日 法話：井上 陽 師(午前)
法話：寺本知正 師(午後)
16日 法話：一楽 真 師

「大悲の会」後援・布教大会

高照寺(堺市北区・072-252-2122)
7月14日(土) 午後3時
法話(第一席)：玉出宗順 師
法話(第二席)：葦名 彰 師
法話(第三席)：中井賢隆 師

編集秘話

今年、PTAの会長に就任することになり、大悲の原稿と会長のあいさつなど文書を書くことが多くなりました。お寺と小学校、そこに翻弄され編集に迷惑をかけることが多く、反省することばかりです。色々な人と関わることで、新たな学びの場となり、勉強させていただいています。(寿栄松)

編集後記

表紙写真の大観覧車。中に一つだけ白いゴンドラがあるのですが、お分かりでしょうか？ 実はこれ床面が透明ガラスでできているシースルーゴンドラなのです。利用料金は普通のゴンドラと同じとのことですので、一度体験されてみてはいかがでしょうか。ただでさえ観覧車が苦手な私にとっては無理ですが……。 (隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第30号(夏号)
平成30年(2018年)7月1日発行 (発行部数2200部)
発行：大悲の会
事務所：佛光寺大阪別院内
〒558-0011 大阪市住吉区荻田6-11-24 電話 06-6691-1362
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」
大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会
長田 譲(会長) 佐々木太一
隅谷俊紀(副会長) 葦名 彰
寿栄松正顕(会計)
玉出宗順(会計)
門川崇志(監事)